

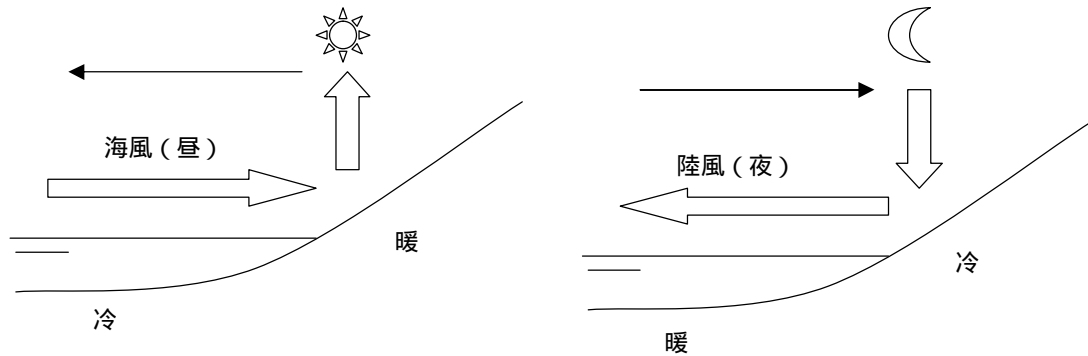
[解答]

海陸風は、海と陸の熱容量の差で起こる。つまり、海の方が暖まりにくく、冷めにくい。

そのため、まず、昼間になると海よりも陸の方が暖かくなる。温められた陸地の空気は膨張する。そのため、海と比べると、地上付近では気圧が低く、上空では気圧が高い状態となる。おこで、陸地では海から風が吹いてくることになる。これが海風で、昼間に起こることになる。

この逆が陸風で、夜間に起こることになる。

結局、太陽熱によって起こる風であり、直接熱で温められて起こる海風の方が陸風よりも強い。 肢 4



[ポイント]

最後の選択肢を除いて、有名な問題です。ですので知識問題ですね。なお陸風と海風が入れ替わるとき、風が止まるときがあります。これが凧(なぎ)の状態です。